京城日報
朝刊
發行所 京城府太平通一丁目三十一番地 合資會社 京城日報社
印刷人 編輯人 發行人 高仲 宮野 太座 平雄

ガ島・寺澤挺身隊血戰記

中澤挺身隊と呼應 敵重砲陣地爆破

時同じく揚る二大火柱

【東京電話】南太平洋に挺身するわが精鋭の鬼神をも哭かしめる活躍はしばしば銃後に傳へられ一億國民を奮起せしめ、米英撃滅の銃後の結束をますます固めさせてゐるが、廿四日同方面にある森川賢司陸軍報道班員より寺澤挺身隊の敵陣地爆破の壯烈な戰鬪模樣が傳へられて來た、寺澤挺身隊はさきに報ぜられた中澤挺身隊と呼應して征途につき相前後して任務を完了したもので隊長以下五隊員は次の通りである

寺澤挺身隊
隊長 陸軍少尉 寺澤孔一 (愛知縣一ノ宮市大字西野字山王)
陸軍伍長 加藤京一 (靜岡縣志太郡豐太村保福島)
陸軍兵長 高橋三郎 (岐阜縣本巣郡土貴野村早野)
陸軍上等兵 古田正也 (岐阜縣加茂郡八百津町)
陸軍上等兵 木下正光 (愛知縣八名郡石卷村大字三輪)

思へば廿六年夢のやうな人生であつた、母の顔、兄姉の顔、郷里のなかに消えては現はれ、現はれてはまた消える『めゝしいぞ孔一』心のどこかで叱りつけてゐるやうだ『最後の別れだ、孔一に暫くの間自分自身の感想に耽らせてくれ』彼は報告用紙を前に鉛筆の芯を嘗めた

兄上樣、君國のため捧ぐる命決して惜しくはありません、これこそ男子の本懐とすべき偉大な死であります、どうか僕の戰死を喜んで下さい、父亡きあと苦しい生計の家から身を犠牲にして中學より専門學校へと勉强させて頂いた大恩は決して忘れはしません、輝かしき大東亞戰建設の礎となつて死んで行くこれほど嬉しいことはありません、そしていまは實に名譽ある任務を受領したのです、敵地に潜入して後方を攪亂すべしと、これぞ兄上の高恩の萬分の一を報じ得るものと喜ぶ次第です、大東亞戰爭は一層長びくことゝ存じます、兄上の奮鬪を祈つて止みません、母上は御老體故僕の分まで孝養を盡して幸福にして上げて下さい、僕は何も思ひ殘すことはありません、勇ましく笑つて死んで行きます
親愛なる兄上樣、弟より

肉親へ最後の便り

『貴官らの行動によつて南太平洋全米軍の心膽を寒からしむるのである』と〇〇兵團長閣下から激勵され、なほそのうへ恩賜のお酒、煙草を戴き感謝と感激の涙に咽んだ寺澤少尉は未だにその興奮は醒め切らない、この世に思ひ殘すことさらにない、吹けば飛ぶやうなこの身に重大な使命を與へられ軍人として最上の死場所を與へられたことを神に對して感謝した『家門の譽、身の名譽』少尉の身體にぞくぞくする嬉しさがこみ上げて來る、敵の飛行機は頭上を爆音高く飛び廻りエンジンの唸りが無氣味にジャングル地帶を流れ敵砲彈の炸裂する響きが轟々と雷のやうな音を立てゝゐる
幼時からいろいろお世話になり海山の洪恩を受けた母や兄姉に何ら報恩の眞似事も出來ず、限りない心苦しさである、けれども今度の戰死によつて許して頂かう

寫眞=(右上から)寺澤孔一少尉、加藤京一伍長、高橋三郎兵長(左上から)古田正也上等兵、木下正光上等兵

今や末ツ子は強し

憲三兄殿
お互ひに帝國軍人として戰場に死するはもとより覺悟のうへです、君國に捧げる命決して惜しくはありません、支那事變當初より今日まで五ケ年有餘奮鬪して來られた兄上の勳功には及ぶべくもありませんが、兄上にあやかるべく誠心誠意戰ひます、陸戰隊や〇〇兵團の驍勇奮鬪するガダルカナル島に參加しあるわれらの決意は實に悲痛なものがあります、米國の最も優秀を誇る海兵師團を殲滅せずんばやみません、今度將校斥候として敵後方攪亂といふ名譽ある任務を受け非常に光榮と存じます、部下はよい兵隊ばかりです、懸命に働く部下に對し感謝するばかりです、元氣に勇んで任務遂行に邁進します
兄上樣、母上樣

(兄上を通じて讀んで頂く)お母さん、孔一も一人前のためために身命を捧げることと…悲しまないで下さい、末ツ子…

朗々吟ず兵兒の歌

中澤はどうしてゐるだらうか…

誓ふ十五日の決行

眼前にあり敵陣地

寺澤挺身隊の敵重砲陣地爆破要圖

遙かに決行の申告

【以下二面に續く】

獨空軍、兵站線空襲

【ベルリン廿四日同盟】獨軍當局は廿四日東部戰線における獨空軍の活躍につき次の通り發表した
廿三日獨空軍は赤軍兵站線、鐵道、道路などを空襲多大の戰果をあげ更に戰鬪機隊はルーマニヤ快速戰鬪機隊と共に赤軍飛行基地を爆撃した、四月廿二、三日の兩日赤軍は東部戰線數地區で飛行機七十七台を喪失したが獨空軍の損害はわづかに四台にすぎなかつた

英本土爆襲

【リスボン廿四日同盟】ロンドン來電=英空軍省は獨爆撃機隊廿三日夜ふたゝび英本土に來襲した旨發表した

チユニジヤ西部激戰

【ベルリン廿四日同盟】獨國防軍最高統帥部發表の戰況報告次の通り
チユニジヤ戰線西部地區の反樞軸軍は依然大規模な攻勢に出で樞軸軍はこれを邀撃して目下激戰展開中で現在までに敵戰車四十八台を擊破した

米國式斥候に爆笑

京日論壇

ペンか？銃か？

江上守彦

戰時體制に百八十度頭を切り換へよ
大東亞開戰と共に從來遲疑鬱積せられてゐた未解決の諸問題が、凡ゆる分野に亘つて決河破竹の勢を以て一大改新せられつゝある。學校の問題も亦この奔流の裡に捲き込まれ、學制改革、之に伴ふ學校組織の戰時的體制が着々實行せられつゝある。過日の岡村兵務部長談の『學校は豫備士官學校也』の理念に透徹轉向せよとの聲明は朝野學界にかなりの衝動を與へたものと思ふ。然し之等に對して疑念を懐く者があるとするならば、彼等は現代戰の樣相と性格を解せず舊來の世界觀、國家觀、戰爭觀に低迷し、鬼畜米英の殘忍誹然なる野望正體を解せず、國家民族存亡の一大決戰の局外に立つて、時代後れの頭腦をもつて進歩的なりと自負する舊態依然たる徒輩であつて、私は之等の人に對しては、速かにその頭を戰時體制新體制に切り換へられんことを切望するものである。諸君の分擔する例へば…

増産へ決戰調の農耕

☆……もう向うの畦には萠の芽が若いみどりいろに萠えて田の土は彩らめるだけ膨らんで今年の増産の農耕を待つてゐる、家の庭の櫻は光り流るる春の微風にはらはらと散るが、その美しく散る風情の中には前線勇士の潔さが想はれる、思へば今日も戰ひは勝ち抜かれてみてはわからない、勤勞に汗してその汗を拭くひと

☆……花の美しさ、それは浮れてゐるのだ

☆……〃チツチツチツ〃〃タシ、タシ、タシ〃牛を勵ますときに見る花の美しさである、人の心は唯一筋今年の増産にある、今年こそ目標額二千八百萬石のお米を立派に作つて戰地の兵隊さんへの感謝としますと意氣込むお百姓さんの心意氣はその犂の齒先に光るお百姓さんや牛には土曜も日曜もないのだ【寫眞＝京春沿道にて撮す】

一物も剩さず出さう
金屬献納に示せ半島の熱意

戰ひはこれからだ

畏くも李王公家の御下賜品を初めとし、仁川府のトラック献納部隊が先づ皮切りとなつて本年二月から銃後の赤誠を鍮器、鐵の眞心にこめた陸海軍への献納は全鮮に反響して一大國民運動となり更に又去る三月末京城府日婦支部が提唱した鍮器献納運動は忽ち武官府の庭を埋め盡し、その流れは鐵地の南山町東本願寺の庭に續いでさしもに廣い寺苑の中に鍮器の山、山、山を築いたのだ

同運動は同月末を以て一應終了の形とはなつたが、その間國敗れて何の家寶ぞと佛像や置物等の重などの夥しい献納もあつて當局をいたく感激させたのである

かくてそれらは次々と〇〇工廠に送られ、その赤誠は既に魚雷となり砲となり南溟の果て北洋の彼方で醜敵米英の敵艦に必中、輝かしい戰果を次々と舉げてゐるが、第一期献納の山を見た民衆が既に事終れりとしてよいか、まだ戸棚の中に、押入れの奥に鍮器はないか、床の間の飾に銅の置物が隠されてゐるのではないか、鐵の扉が起ち遅れて悲しんではゐないか、もう一度自分達の周邊に戰ふ皇國の民としての眼を注いで見ようではないか

きつと無言の中にも早く赤襷をかけて下さいと切願してゐる鍮器が、銅、鐵などの赤襷品が殘つてゐるのだ、血戰死鬪の第一線は軍需金屬の献納を待つてゐる、近く再びその献納運動は、各團體、聯盟を通じて展開されいよいよ勝ち抜くための兵器の充實に銃後の熱誠を見せることになつてゐるが、その運動の開始される前に

一物も剩さず陸海軍に献納して天晴れ皇國半島の面目を誇らうではないか、今遊るのは恥ぢだ、戰ひはさ持つなどもつての他だ、隠しそれからなのだ『撃ちてし止まむ』と口誦んで見よ、この春にも靖國の宮に一萬九千九百八十七柱の英靈が新たに合祀されたのである、我々は慶しくも想ひを深めて軍援運動に應へて銃後の赤誠をその献納に結集すべきだ、半島二千五百萬の應召を軍需金屬の献納に具現しようではないか

鮮鐵局友會の慰安演藝

たのなわの春、櫻花と競ふ絢爛さで繰展げた軍人援護に銃後精神を強調する藝能、體育の二つの催し——軍人援護精神昂揚運動の一環を擔つた鮮鐵局友會では厚生施設の舞踊部創設を機に廿五日晝夜二回に亙り新龍山鐵道會館二階講堂で『慰安演藝會』を開催、午後一時からは白衣の勇士及び出征應召遺家族七百名を招待竹内音樂部長の挨拶についで局友會員高田和子さんの長唄『松の緑』や可憐な兒童の出演になる童謡舞踊等四十二種目の熱演にヤンヤの喝采を博し夜六時か

典型的の武將
友人が語る加來提督

【春川電話】大東亞戰において護國の英靈と化したわが海軍航空戰術の權威、加來止男少將は、廿二日山口海軍中將以下四將星と共に敵米英艦を擊滅、廿…

同光大勳章を捧呈
褚國府特使けふ參內

【東京電話】畏くも天皇陛下にはさきに中華民國々民政府主席汪精衛氏に對し大勳位菊花大綬章を御贈進あらせられたが、今回國民政府より天皇陛下に對し奉り同國最高勳章たる同光大勳章を贈進申上げることになり、目下來朝中の同國外交部々長褚民誼氏は特派大使として隨員特命全權公使張超氏、外交部亞洲司長薛逢元氏ならびに外交部秘書徐毅宗氏を隨へ二十六日宮中に參內　天皇陛下に謁見仰付けられ同勳章を捧呈申上げることになつた

この日褚特派大使は坊城式武官の迎引をうけて午前十時十五分宿舍帝國ホテルを出發宮內省差廻しの自動車にて隨員一行とともに宮中に參內、徐良大使とともに鳳凰間に參進畏くも　天皇陛下には親しく褚特派大使に謁見仰付けられ褚特派大使は恭しく御前に參進、同光大勳章ならびに汪主席よりの親書を捧呈申上げる、ついで　天皇陛下には張超氏ら隨員一行にも賜次謁見仰付けられて入御、褚特派大使一行は成儀御前を退下同十一時過ぎ宮中を退下する豫定である

勇士達のお蔭です
學童聖地參拜團の感謝慰問

本社主催第五回全鮮學童代表聖地參拜團廿九名は京城に初旅の一夜を明かし廿五日…

勇士を慰問
協和會下關支部員の赤誠

【下關電話】妾達も皇國女性の一人です、白衣の勇士達を朝鮮の唄や踊で慰問し感謝の眞心を贈りませうと協和會下關支部女子青年團三十餘名は五月二日午前八時から協和會役員に引率されて、下關陸軍病院で慰安と感謝の一日を過すこととなつた、同青年團女子部ではこれで二回目の慰問で軍事援護會や當局から痛く感激されてゐる

【下關電話】戰爭に出られない吾等は銃後で飛行機や軍艦を造つて第一線に送りませうと協和會下關支部では市内三萬の在住半島人に四月一日から六月末日までは一萬圓の献金方を強調したところ、四月廿日までに早くも半額の五千圓を突破、締切りまでには豫定の一萬圓をはるかに突破させるのだと意氣込んでゐる

完勝へ！一死貢獻
國府視察團今朝京城通過　葉上將の車中談

【大陸車中にて中村特派員發】同生共死の決意を固めて戰ふ新生中國の國軍統帥に重責を負ふ國民政府陸軍部部長葉蓬上將並に昨春和平陣營に投じた第二方面軍總司令孫良誠上將、蘇豫邊區綏靖總司令胡上將ほか中國將校內地視察團一行十一名は、廿五日の『大陸』で半島を通過一路上京の途中にあるが車中、團長葉將軍、副團長孫將軍…

組織の強充に全力を傾注すると共に新軍についてはより軍隊化した軍隊の建設につとめるものである、しかし國軍の裝備は未だ至らぬ點もあるが、兵隊の素質もよく困苦に耐へて服從性に富んでゐるので、この點に相當な裝備を施したならば、日本軍と協力作戰の遂行に當ること出來ると信ずる、故にこの度の日本視察も國軍の向上進歩をはかるがためである

又、和平陣營に參加した孫將軍は語る

私は孫文先生を崇拜してゐる、日本と中國が仲良くするといふことは孫文先生の遺された意志である、從つて、私は率先和平陣營に參加したが、參加した以上立派に軍人として大東亞戰爭に死力を盡したい覺悟である

茶道で磨く心の修練

逃げ惑ふ敵一萬
トーチカを順次粉碎

南平・田家井—緩撃同乘記

從軍作家現地報告講演
本社後援で廿八日から開催

南方從軍作家現地報告大講演は既報の通り本社並に聯盟、朝日人報國會共同主催の下に開催されるが一行は廿六日東京を出發の豫定で演題、講演期日など次の通りに決定した

◇講演者　題未定陸軍報道班員野崎平、『バターン作戰』を語る陸軍報道班員上田廣、『南方の前戰』海軍報道班員井上…

◇期日　廿八日釜山公會堂、京城府民館、五月一日平壤…堂、四日咸興公會堂、八日新…公會堂

遺家族慰安の運動會

【遺家族の子供さんを慰安】…長江里口トクさん以下三百名…2と廿五日午前十時半から…は愛國祭に住まふ遺家族と…の遺兒八十名を…慰安運動會を開催、無邪氣…

電話の申請
五月十日から五日間受付

科學への道探求
きのふ先生達が講習會

米の飛行機工場學徒動員

山口縣人會總會

感激の昇殿參拜
靖國大祭第二日